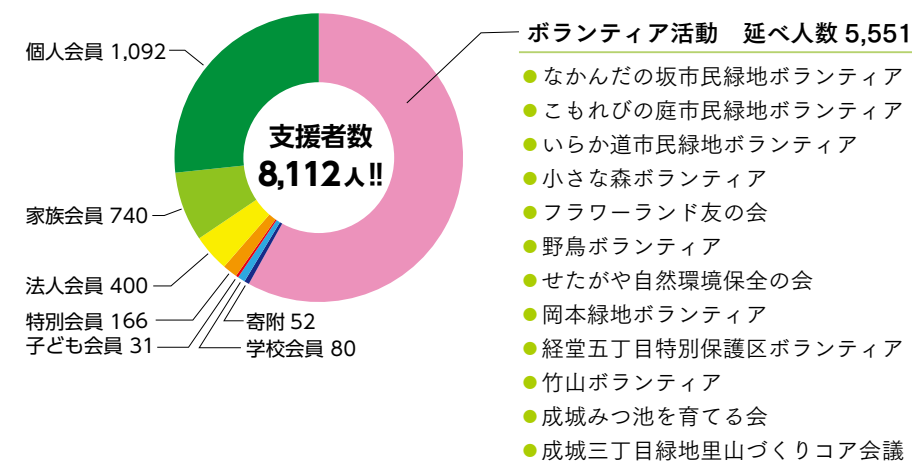


いただいた支援の報告

世田谷のトラスト運動や区民主体のまちづくり活動は、トラストまちづくり会員やご寄附、トラストボランティアなど、たくさんの方々に支えていただいております。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、制限のある生活の中で、2021年は2,561名の会員・寄附者の方から4,347,809円ものご支援をいただきました。またトラストボランティア団体には、延べ591回・5,551人(2021年4～12月)もの活動で支えていただきました。皆様のご支援に改めて感謝申し上げます。トラまちは「区民参加・連携・協働によるみどり豊かな環境共生・地域共生のまち世田谷」の実現に向け、引き続き皆様と共に取り組んでまいります。



四季折々の花が彩る園内 年間のべ1,900人が活動する「フラワーランド友の会」



世田谷区内に残された貴重な自然について解説する「成城みつ池を育てる会」

法人会員 ※敬称略 五十音順

税理士法人アドヴァンス会計、石狩造園株式会社、イブシロン株式会社、有限会社ウールズともや、株式会社上仁、H K 株式会社、株式会社岡野造園、株式会社小川植木、株式会社オズ・スタジオ&ショウビズ、株式会社北山ハウス、北山ハウス産業株式会社、有限会社高栄消毒、小金井造園株式会社、有限会社小金井緑化、株式会社小林石庭造園、さくら庭園株式会社、三栄造園株式会社、株式会社自然教育研究センター、昭和信用金庫、社会福祉法人青藍会、株式会社セガワ、株式会社世田谷サービス公社、有限会社泰平造園、第一緑興株式会社、株式会社高島屋 玉川店、株式会社高橋植木、ちとせ緑地株式会社、東京世田谷電設工業協同組合、野川とハケの森の会、株式会社ビーネン、二子玉川振興対策協議会、平成造園株式会社、北友商事株式会社、松原 5・6 丁目自治会、有限会社マルカワ、株式会社丸九戸鉄男商店、株式会社緑の風景計画、株式会社メイデン・エレクトクス、有限会社望月造園、有限会社山越造園、株式会社吉村造園、緑進造園株式会社

トラストまちづくり会費・寄附額(2021年1～12月)

	トラスト基金	まちづくり基金
会 費	2,397,500 円	448,500 円
寄 附	1,334,118 円	167,691 円
合 計	4,347,809	

皆様からいただいたトラスト基金は、民有地のみどり保全のために市民緑地開設費に充当させていただいております。前年度は、上祖師谷五丁目花の木市民緑地及び松原一丁目日章館亀井邸市民緑地の開設費用等(1,777,896 円)に大切に使用させていただきました。

トラまち TOPICS 2021

SETAGATAYA TRUST & COMMUNITY DESIGN



(一財)世田谷トラストまちづくりの活動報告レポートです。2021年1月～12月の取り組みや成果など、ホットな話題をご紹介します。

世田谷のトラスト運動の成果 ～竹山市民緑地リニューアルオープン

世田谷のかつての農村風景が今も残る喜多見において、トラまちは民有地の竹林を「喜多見五丁目竹山市民緑地」として契約し、約20年間にわたって竹山ボランティア(トラストボランティア)の方々と公開・管理してきました。ボランティアの方々と共に竹林の魅力伝えるイベントを実施したり、管理作業で発生した竹材を保育園の七夕かざり、新年のどんど焼き、竹細工用に子どものあそび場へ提供するなど、地域の方々に親しんでいただく活動もしてまいりました。多くの方々と共に、地域の宝物を守り育てる「世田谷のトラスト運動」の結果、この喜多見の竹山市民緑地は、区有地化され将来にわたって守られることとなりました。10月から区による再整備が行われ、2022年春から「区立喜多見5-21遊び場(竹山緑地)」としてリニューアルオープンいたします。トラまちは、引き続きボランティアの方々と共に、世田谷の原風景であるこの竹林を守り育ててまいります。



かつての世田谷では竹林を平地にあって竹山と呼んでいた

コロナ禍での取組・試行 ～オンラインの活用

2020年からトラまちでもオンライン導入に取り組み、2021年はイベント、研修、相談業務など活用事業が増えました。実施に際しては、操作が不慣れな方でも、安心して参加できる工夫を心がけています。オンラインは、現地に足を運ぶことが難しい方でも時間帯や移動距離等にとらわれることなく気軽に参加できる利点がある反面、従来の顔を合わせて集まる機会・場の重要性も改めて認識しています。今後も試行を重ね、状況に応じて使い分け、withコロナの中で事業実施に取り組んでまいります。



まちづくり交流会もオンラインで

緑地保全活動に新たな若い力が ～成城三丁目緑地

成城三丁目緑地山づくりコア会議(トラストボランティア)は、明正小学校の総合学習に協力し、授業の中で児童たちが保全作業に参加しています。この児童たちの作業は、緑地保全の大きな力になっています。また、企業ボランティアにも協力をいただいていたが、こちらはコロナ禍による活動中止で、例年通りの作業ができない状況でした。そんな中、12月に新たに千歳丘高校の生徒たちの協力があり、滞っていた力仕事などの作業を進めることができました。



頼もしい活動してくれた高校生の皆さん

まちづくり活動のネットワークづくり ～(一社)世田谷造園協力会との協定締結

地域の課題解決に取り組む区民主体の活動支援など、トラまちでは多様な連携により事業を進めています。これまで金融・建築・不動産・税理などの専門団体と支援協定を結び、各種事業にご協力いただいています。10月には、新たに(一社)世田谷造園協力会と協定を締結し、造園緑化の支援ネットワークを強化することができました。今回の締結で支援協定は合計8団体。引き続き相互の強みを生かしあい、環境共生・地域共生のまちづくりを進めていきます。



里山農園隣の雨庭づくり((一社)世田谷造園協力会)



一般財団法人 世田谷トラストまちづくり
SETAGAYA TRUST & COMMUNITY DESIGN

〒156-0043 世田谷区松原6-3-5
Tel 03-6379-4300(代表)
Fax 03-6379-4233



【財団ホームページ】
世田谷トラストまちづくり
<https://www.setagayatm.or.jp/>



新たな地域課題に取り組む ～ナラ枯れ合同勉強会の開催

カシノナガキクイムシ(カシナガ)という昆虫が原因で、コナラやクヌギ等ナラ類の木が枯れる「ナラ枯れ」は、現在関東で大発生し、世田谷区内でも西南部を中心に広がっています。完全に枯れた場合、倒木の恐れもあるため伐採せざるを得ません。この被害を少しでも食い止めるため、トラまちでは区やボランティアの方々と共に試行錯誤で防除を進めています。

このような状況の中、12月に区やボランティア、(公財)東京都公園協会、明治大学農学部倉本宜教授と共に、被害状況やノウハウ共有のための勉強会を開催しました。今後は、情報発信や伐採木の有効活用など、実験的な取り組みを皆さんと共に進めていきたいと考えています。



ビジターセンターでの勉強会の様子

貴重な自然環境の保全再生 ～地域連携・協働による保全活動

トラまちは、長年にわたって大蔵住宅自治会やせたがや自然環境保全の会(トラストボランティア)の方々と共に大蔵三丁目公園内で、都市部では見られなくなったイチリンソウの保全活動をしています。近年は、東京農業大学と連携し、里山再生にまつわる勉強会を実施し、日照を遮る実生木の整理など、効果的な保全再生策に取り組んでいます。

また、等々力溪谷においては、世田谷区や東京都市大学、さらには野毛青少年交流センターなど様々な方々と連携しながら、湧水による流れの環境整備や外来植物の除去といった、水辺再生活動を始めています。これからも地域連携・協働の輪を広げながら、区内の貴重な自然環境の保全再生を進めてまいります。



イチリンソウ

歴史的文化遺産を後世へ！ ～民有の近代住宅を引き継ぐために

トラまちでは、区内に残された歴史的文化遺産を後世へ引き継ぐため、所有者から建物保存に関する相談を受けています。写真の近代住宅も保存に関するご相談をいただき、修繕のアドバイスや職人の紹介、国の登録文化財への推薦、財団の制度を利用した保全等、家屋敷の保存に向けて様々な支援を長年行ってきました。2022年には国の登録文化財になる見通しです。トラまちでは、こうした近代建築の保全支援にも取り組んでいます。



昭和5年築のK邸

時を継ぐ活動支援 ～「まもりやまテラス」の今

まもりやまテラスは、旧守山小学校を区の複合施設として活用した、区民が運営に関わる拠点です。学校時代には、まちづくりファンド助成グループが活動していたほか、テラス開設時には、住民参加型の運営体創出に向けたワークショップにトラまちが協力したなど、継続的に関わりがあります。12月からは、小学校時代からあるビオトープなどテラスの環境を、改めて地域の方々と探るイベント「テラスdeカエルさがし隊」に協力しています。



ぜひテラスに遊びに来てください！

多様な「まちづくり活動」を支援し続ける ～まちづくりファンド30年

トラまちが1992年に設立した公益信託世田谷まちづくりファンドは、2022年12月で30年を迎えます。住みよい環境づくりにつながる区民主体のまちづくり活動への助成を目的に、時代に合わせた部門変遷をしてきました。4月からは「つながりラボ」部門を新設しました。コロナ禍など社会状況の変化の中、さまざまな暮らしの課題解決や新たな価値を創造していく上で、「拠点・場」の可能性に着目し、場をもつ団体の多様な協働による実験的な取り組みに対して助成を行っています。

また12月には30周年に向けてのプレ企画として、24時間オンラインイベント「まちづくりデイ」を開催しました。30年を参加者と共に考える趣旨で、世田谷のまちづくりに関わる方々のトークを軸に、活動現場からの中継、区による区民協働事業の紹介、運営委員による公開会議など、区民と共に創られてきたファンドらしい催しとなりました。

引き続き30年の蓄積とつながりを活かしていくために、さまざまな観点から活動支援のあり方を考えていきます。



助成グループの活動風景
(一社)おやまちプロジェクト

地域共生のいえ誕生 ～「らくらくハウス」

2022年の春、二子玉川駅近くに新たな地域共生のいえが誕生します。「地域のみんなでつくる、みんなの居場所」をモットーに活動されています。トラまちでは2020年に建物オーナーからの相談を受け、「(一社)耐震100%実行委員会」からモニターのお申し出があった木質耐震シェルター※を紹介するなど、支援をしてまいりました。オーナーは、開設にあたってシェルター導入だけでなく、キッチンと居室をつなげる工事を行い、建物の利便性と安全性を向上させました。これからもたくさんの方を迎え入れ、地域と共に成長していく「らくらくハウス」の応援をよろしくお願いします。



木質耐震シェルターを設置した部屋の様子

※(一社)耐震100%実行委員会と(株)エヌ・シー・エヌとが共同開発したシェルター。大掛かりな耐震改修ができない場合でも、部屋単位で設置することができ、地震による家屋の倒壊から一定の空間を確保することで命を守る。

トラスト基金へのご寄附 ～3団体へ感謝状

毎年「世田谷にみどりいっぱい」の会、「成城環境保全協力会」から、トラスト基金に多大なるご寄附をいただいております。新たに、トラまちビジターセンターに自動販売機を設置しているサントリービバレッジソリューション株

式会社(旧：株式会社ジャパンビバレッジ)が、自販機売り上げの一部を継続的にトラスト基金に寄附していただくことになりました。これらあたたかいご支援に、トラまち理事長より感謝状を贈呈させていただきました。



世田谷にみどりいっぱい



成城環境保全協力会



サントリービバレッジソリューション株式会社